

# SDGs～持続可能な取組～



今井町を好きになろう

檀原市立今井小学校

2・5・6年

生活科・総合的な学習の時間

めあて

- (2年) 地域の人や場所の良さに気づき、それらを大切にできる気持ちや地域のことを知ろうとする気持ちを育む
- (5年) 地域の人や場所の良さに気づき、それらを大切にできる気持ちや地域のことを知らせようとする気持ちを育む
- (6年) 地域の人々の思いに気づき、それらを大切にできる気持ちやこれからの地域について考えようとする気持ちを育む

本校は国の重要伝統的建造物群保存地区として選定されている「今井町」が目の前に広がっている。児童の生活の場は自宅周辺から通学路、学校へと繋がっていく。全学年の学習活動を通して地域の人や場所の良さに気づき、それらを大切にできる気持ちや地域のことを知ろうとする気持ちを育てていくことに価値があると考えている。

## 【町探検 2年生】

2年生では生活科の学習で町探検に出かけた。1学期には①今井町には何があるのか。②何か不思議を発見しよう。という目的意識を持って行き、疑問に思ったことを観光広場「華葦」で質問した。2学期には知りたい施設やお店を児童が決め、調べるためにはどのような方法がいいか、また知ったことを誰にどのように伝えるのかを考えた。グループごとに町探検の計画を立て、質問したいことや知りたいことを考えた。実際に施設やお店に行き質問したり、訪問できない施設にはビデオ撮影をして届けたりした。探検後の授業では、子どもたちからさらなる疑問や知りたいこと、調べたいことが生まれ、次の学習への意欲が高まっている。



## 〔教師の感想〕

探検したお店や施設は9カ所。地域の人々の協力が非常にありがたかった。地域に支えられているのだと再度実感した。

### 【今井町カルタ 5年生】

5年生では総合的な学習の時間に今井町カルタを作成した。低学年から学んできたことを活かし、50音に当てはめて今井町にある施設やお店の写真の読み札をグループごとで数枚ずつ作った。低学年より学習を積み重ねてきたため、今井町だけで50音うめることができた。また、担当したカルタの中から1つの施設を選び、今まで以上に詳しく調べる活動も実施した。学習した内容はいきいき集会（人権集会）で6年生に対して発表した。長い期間での学習を通して、子どもたちの中には「今井町の良さをこれからも残していきたい」という保存派の考えと、「こうすればさらによくなるのではないか」という改革派の考えが生まれてきた。またどちらにも共通して「今井町をどうしていくかは自分たちにかかっている」という学習の感想があった。大人数での接触がなかなか難しい昨今ではあるが、地域との関わりを大切にし、これからも引き続き取り組んでいきたいと考える。

### 【今井町のこれからを考える 6年生】

6年生では、これまでの学習から今井町をこれからどうしていく必要があるのかについて考える学習をした。町並み保存会の方にも話を聞き、保存派と改革派に分かれ自分の意見を深めるために、さらに調べ学習を行った。「夜が暗いから町の灯りを明るくした方がいいのではないか。」「今井町は道に迷いやすい。目的地がわかりやすい看板があった方がいいのでは。」「泊まる施設があればたくさんの観光客が来て、もっと今井町を知ってもらえるはず。」など、様々な疑問や意見が出された。

そして、それらの意見をもとに、観光広場「華薨」にて保存派と改革派での「これからの今井町について考える討論会」を行った。後日、多くの児童が「伝統を壊すのは簡単。だからこそ今まで守られてきた良さを自分たちも大切にしたい。」「良さを引き出すために変えていけるところを考えたい。」という感想を書いた。今井町の歴史や良さを知り、この街に住む一人として自分たちには何ができるのかを考える機会となった。

